２０２５年度の事業計画書

２０２５年４月１日から２０２６年３月３１日まで

認定特定非営利活動法人　京都 DARC

Ⅰ　事業実施の方針

２０２５年度においても利用者の支援はもとより、薬物依存症及び京都ダルクの活動を地域の方、医療・福祉・司法・教育等の各方面の関係者の方々により広く理解していただけるようにするため、以下の事業計画とします。

■障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス

今年度も「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービス事業所としての共同生活援助（介護サービス包括型）事業のネクサス、自立訓練（生活訓練）事業のデイセンター・マハロの運営を行います。

■京都 DARC での相談援助事業

今年度も薬物依存症者およびその家族への相談援助事業としての電話相談および来所面談を行います。また、家族向けの支援として、家族カウンセリングと家族プログラムを引き続き行います。

■デイセンター・マハロでの依存症当事者回復支援

毎週月～土まで、依存症当事者支援として、主に下記のプログラムを行います。

① ミーティングプログラム
依存症当事者が回復への意欲や行動を継続できるよう、互いの体験を分かち合うミーティングを１日２回実施します。

② 調理プログラム
利用者の生活自立支援の一環として、調理プログラムを継続的に実施します。また、薬物等の依存物質を使用しない日常生活の再構築を目的に、季節感を取り戻す取り組みとして、季節のメニューの調理にも積極的に取り組みます。

■デイセンター・マハロでの回復プログラム（ボランティア等）と地域交流

今年度も地域との連携を深め、自治会・町内会活動の参加（公園等の清掃・防災訓練・イベント手伝い）、地域団体との連携活動（イベント等のボランティア参加）、援農（農作業のお手伝い）に取り組みます。また、京都文教大学の学生との交流も引き続き、行っていきます。

■京都府薬務課、京都市との共同事業

今年度も京都府薬務課との共同事業、以下３事業を行います。

① 薬物依存症の電話相談「きょう-薬物をやめたい人-のホッとライン（薬物依存ホッとライン）」

② 「若年者向け薬物再乱用防止プログラム（明日への扉を今開こう！OPEN）」
（キャンパスプラザにて月２回、７か月/１クール）

③ 京都府北部地域での移動相談事業（舞鶴医療センターにて、月１回）
　また、京都市からの受託事業である「京都市薬物依存症再発防止プログラム(KEEP)」の講師派遣も行います。

■薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業
　今年度においても、京都ダルク２２周年記念フォーラムや学校・各種研修会への講師派遣を行います。また、新たな啓発の形として、以下の活動を行います。
① 「ダルクでの日常紹介」動画の投稿
　昨年度に引き続き、ダルクの日常を紹介する動画を作成し、当法人の YouTube チャンネルに投稿します。また、ホームページ上にリンクを掲載し、より多くの人々に活動内容を届けます。
② 小学校高学年、中学生を対象とした「生きづらさ」「偏見」に関する啓発活動
　若年層の依存症の背景にある“生きづらさ”について、マンガ冊子を通じた啓発活動を行います。本冊子は、京都国際マンガミュージアムのご協力のもと作成し、子どもたちとともに「生きづらさ」とは何か、またそれを理解しないことで生じる偏見について考える機会を提供します。

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業

事業名		事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
社会サービス事業 ⑥障害者総合支援法に基づく障害者福	①薬物依存症回復支援施設の運営事業	共同生活援助（介護サービス包括型）事業 ネクサス1運営	３６５日	ネクサス1	７	（平均） 10名/日	35,000
	③薬物依存症者への生活支援事業	ネクサス2運営		ネクサス2	７	（平均） 3名/日	
	①薬物依存症回復支援施設の運営事業	自立訓練（生活訓練）事業 デイセンター・マハロ運営 ミーティング、レクリエーション、昼食作りなどのプログラム	月～土 9:30～ 17:00 ３１４日	デイセンター・マハロ	６	（平均） 10名/日	40,000
	③薬物依存症者への生活支援事業						
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業		書籍販売	随時	京都ＤＡＲＣ	２	薬物依存症者とその家族・関係機関職員等	0
②薬物依存症者及びその家族への相談援助事業		薬物依存症者相談	随時	京都ＤＡＲＣ	１３	50件/年	1,200
		家族・関係者相談	随時	京都ＤＡＲＣ	１０	30件/年 薬物依存症者家族 10件/年 関係者	
		ホッとライン相談	随時	京都ＤＡＲＣ	１０	10件/年 薬物依存症者 10件/年 薬物依存症者家族 5件/年 関係者	
		インターベンションプログラム	随時	各拘置所・留置施設	１０	20件/年	
		家族プログラム	１２回/年	京都ＤＡＲＣ	１	（平均） 9名/回 薬物依存症者家族	
		家族カウンセリング	随時	京都ＤＡＲＣ	１	60件/年 （90時間）	
		京都府北部薬物依存症者に対する移動相談	１２回/年	舞鶴医療センター	５	（平均） 5名/回 薬物依存症者・関係機関職員等	
		刑務所等における薬物離脱教育指導講師派遣	30回/年	各刑務所・拘置所	５	薬物依存症者	
		更生保護施設盟親健康学習会講師派遣	8回/年	更生保護施設盟親	１	（平均） 7名/回	
		OPEN「若年者向け薬物再乱用防止プログラム」講師派遣	15回/年	キャンパスプラザ	２	（平均） 5名/回	
		ＫＥＥＰ「京都市薬物依存症再発防止プログラム」講師派遣	18回/年	京都市こころの健康増進センター	１	薬物依存症者	
		「薬物再乱用防止プログラム」講師派遣	25回/年	京都保護観察所	２	薬物依存症者	
④薬物依存症・薬物乱用に関する知識・情報の普及啓発事業		ニュースレター発行	６回/年	京都ＤＡＲＣ	４	１３００部/回	
		フォーラム開催	１回/年	京都府内	１５	２５０名/回	
		出張フォーラム開催	0回/年	京都府内	０	０	
		各種研修会等講師派遣（関係者・PTA・福祉等）	5回/年	全国	６	１００名/回	
		学校・高校・大学への講師派遣	１０回/年	関西圏各学校	６	中学・高校・大学の生徒教員及び保護者等約１５０名/回	
		他機関との協力・連携（市こころの健康増進センター・府精神保健福祉総合センター等）	１０回/年	全国	６	薬物依存症者、関係機関職員	
		ホームページ上でのダルク日常紹介動画投稿	随時	京都DARCホームページ	２	薬物依存症者、関係機関職員	
		小学校高学年、中学生向けの「生きづらさ」「偏見」についての啓発	随時	関西圏各小学校、中学校	４	小学校高学年、中学校生徒、教員及び保護者等	
⑤薬物依存症者の社会復帰促進事業		喫茶店等でのボランティア	40回/年	バザールカフェ	３	（平均） 3名/回	
		地域でのボランティア	40回/年	京都市	１０	利用者	
		就労相談	随時	京都ＤＡＲＣ	１０	利用者	
		研修会参加	5回/年	全国	１０	職員、利用者	
		農作業体験	１０回/年	亀岡市	４	（平均） 6名/回	
			20回/年	綴喜郡井手町	４	（平均） 6名/回	
⑦その他この法人の目的を達成するために必要な事業		施設内研修	１２回/年	京都ＤＡＲＣ	４	（平均） 10名/回 職員、関係者	
		施設外研修	5回/年	全国	１０	（平均） 2名/回 職員、関係者	

（２）その他の事業　実施予定なし。